グリルで調理をする（つづき）

追加焼きをする

お知らせ 自動調理終了後、ヒーターのクリーニング中にセットします。

1 追加焼き を押し、
ランプを点灯させる

2 ◀|▶ を押し、
時間を設定する

3 切/スタート を押し、**通電する**

メロディーが鳴ったら終了です。

食材を取り出します

4 続けて使わないときは
電源 切/入 を押し、**電源を切る**

追加焼き時間設定

●タイマー時間は3分から始まります。29分まで設定できます。

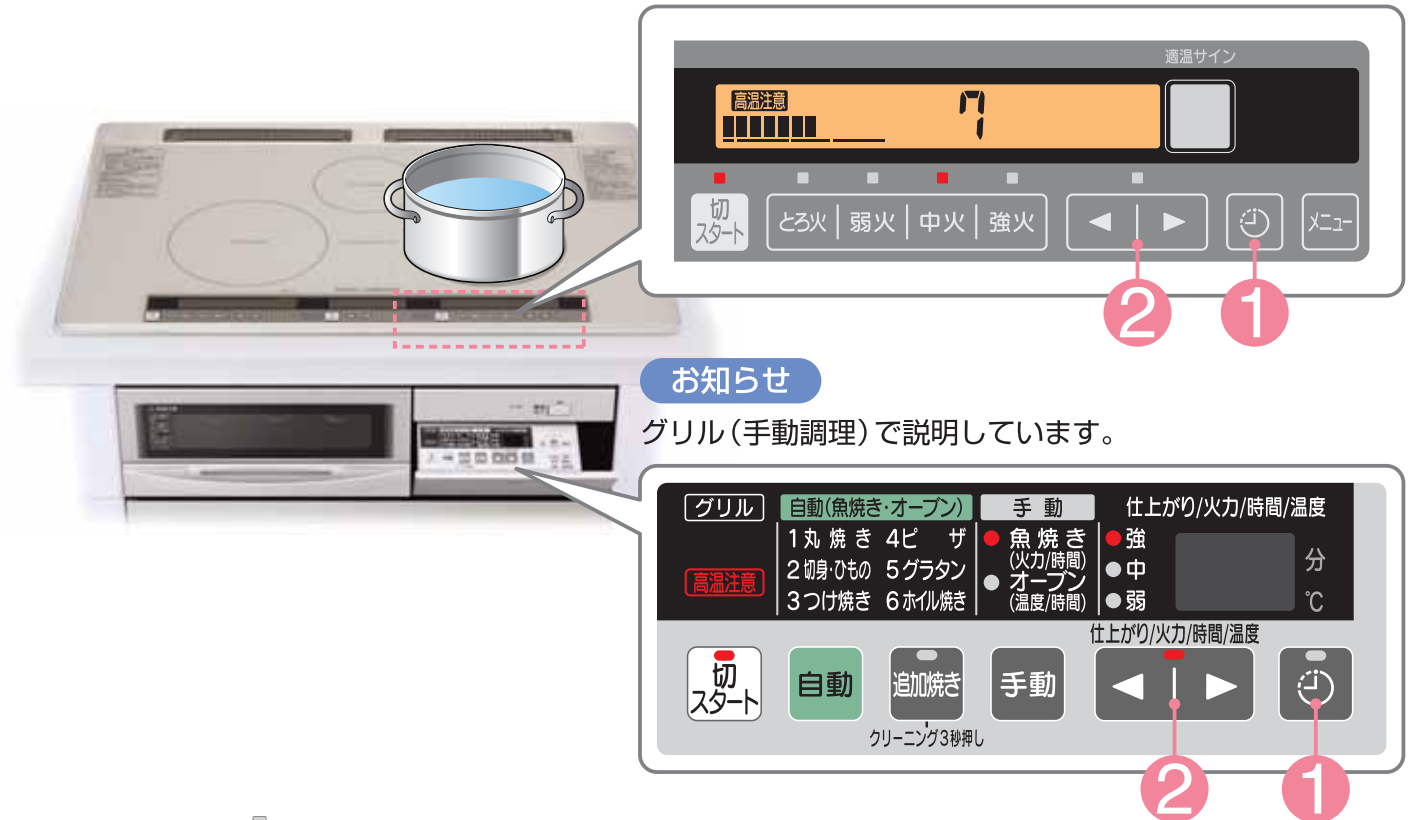
●調理が終了すると約5分間、自動的にヒーターのクリーニング（CL 表示）を行い、追加焼き のランプが点滅します。
焼きが足りないときはもう一度追加焼きを行ってください。

●ヒーターのクリーニングを途中で終了したい場合は、切/スタート を押してください。

●庫内の温度が約80℃以下になるまで「**高温注意**」表示をします。

便利に使う

タイマーを使う

お知らせ 右ヒーターで説明しています。

お知らせ や 切/スタート を押したあとの通電中（調理中）にセットします。

左・右・中央ヒーター

1 ⏲ を押す。

2 ◀|▶ を押し、**時間を設定する**

●設定できる最大時間
火力「1」～「 5」▶9時間55分
火力「6」～「12」▶1時間
保温 ▶1時間
煮込み ▶2時間

グリル

1 ⏲ を押す。

2 ◀|▶ を押し、**時間を設定する**

●設定できる最大時間
グリル ▶29分

1分～1時間までは1分きざみ、1～5時間までは10分きざみ、5～9時間55分までは30分きざみで設定できます。

約3秒間待つ。メロディーが鳴り、**タイマーがスタートします**

メロディーが鳴ったらタイマー終了です。自動的に通電を停止します。

●途中で調理タイマーを中止するときは、もう一度 1 を押してください。
●設定した時間を変更したい場合は、タイマーを中止し、再度設定してください。

便利に使う（つづき）

操作をロックする

お知らせ
●安全のために、操作できないようロックできます。
●全てのヒーターが切れている状態で受け付けます。
●電源を切っても記憶しています。

前面操作パネル

全ての操作をロックする

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源ランプを点灯させる**

2 チャイルドロック を3秒間押し、**ランプを点灯させる**

全てのロックを解除する

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源ランプを点灯させる**

2 チャイルドロック を3秒間押し、**ランプを消灯させる**

チャイルド
消灯

音声の音量設定・聞き直し

音量を設定する

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源ランプを点灯させる**

2 音声聞き直し **を3秒間押す**

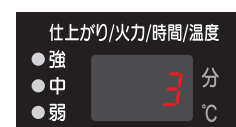
音声聞き直し を押し、**希望の音量を選ぶ**

希望の音量で3秒経過するとセット完了

音声を聞き直す

音声を聞き直したいときは

音声聞き直し **を押す** 直前の音声の内容が流れます。

音量設定時の表示

3 音量「大」
2 音量「中」
1 音量「小」
0 音量「切」

レンジフードファン連動システムを使う（機能付きのみ）

お知らせ
●レンジフードファン連動システムは各ヒーター、またはグリルの通電・停止に連動して、レンジフード（連動システム対応機種のみ）が運転・停止するシステムです。
●レンジフードによっては動作が異なる場合があります。また、レンジフードの使いかたはレンジフードの取扱説明書をご覧ください。
●レンジフードファン連動システム対応のレンジフードについては、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」(➔P.63)の窓口にお問い合わせください。

操作と連動する内容

クッキングヒーターの操作	レンジフードの作動
各ヒーター、またはグリルの通電を開始したとき	運転を開始します。
各ヒーター、またはグリルの通電を停止したとき	約3分後に自動停止します。

IH クッキングヒーターの前面操作パネルでレンジフードを操作する

運転を切り替えるときは

運転 弱/中/強 **を押す**

押すごとにレンジフードの風量が切り替わります。

レンジフードが停止中に 運転 弱/中/強 を押すと

「弱」で運転を開始し、押すごとに風量が「弱」→「中」→「強」→「弱」と切り替わります。

照明を点灯（消灯）するときは

照明 **を押す**

運転を停止するときは

切 **を押す**

お願い

クッキングヒーターからの信号がさえぎられるとレンジフードが作動しない場合があります。

●送信部が汚れている。
●送信部が鍋やフライパンのとってなどでおおわれている。
●他のリモコンを操作している。

メロディーをブザーに切り替える

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源ランプを点灯させる**

2 前面操作パネルの ⏲ を3秒間押し、「ピピッ」と鳴ったら **切り替え完了**

●もとにもどすときも、同じ操作をします。

お手入れ

●ご使用のたびにお手入れしてください。
●お手入れの際は、必ず電源を切り、十分に冷えたことを確認してから行ってください。

トッププレート部・本体・天ぷら鍋（付属品）

ご注意 ●ベンジン、シンナー、みがき粉は使用しないでください。
●吸・排気口に水が入らないよう、ご注意ください。

トッププレート・プレートワク（ステンレス製）

●軽い汚れ

絞ったふきんでふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

●油汚れ

台所用洗剤（中性）を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

ご 注 意 酸性・アルカリ性の強い洗剤（漂白剤、住宅用合成洗剤など）は使わないでください。

●落ちにくい汚れ

クリームタイプのみがき粉を丸めたラップにつけてこすりとる。

※プレートワクはステンレスの筋にそって、こすってください。

ご 注 意 ●ドライバーやフォークなど先の鋭いものや粒子の粗いみがき粉は使わないでください。
●金属のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。

筋の方向は横向きです

●それでも落ちないときは

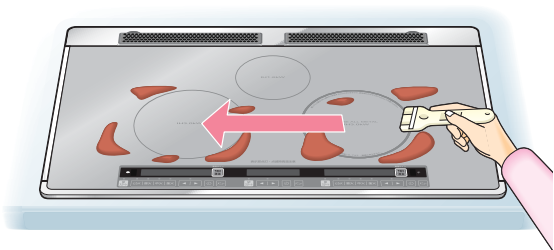
市販のセラミック用スクレーバー等で煮こぼれの部分だけを軽く削り落とし、その後よくふき取る。

別売品 2007年7月現在

トッププレート専用クリーナー

●トッププレートの汚れをおとし、光沢をだし、ふきこぼれによる汚れや焦げつきを抑えます。

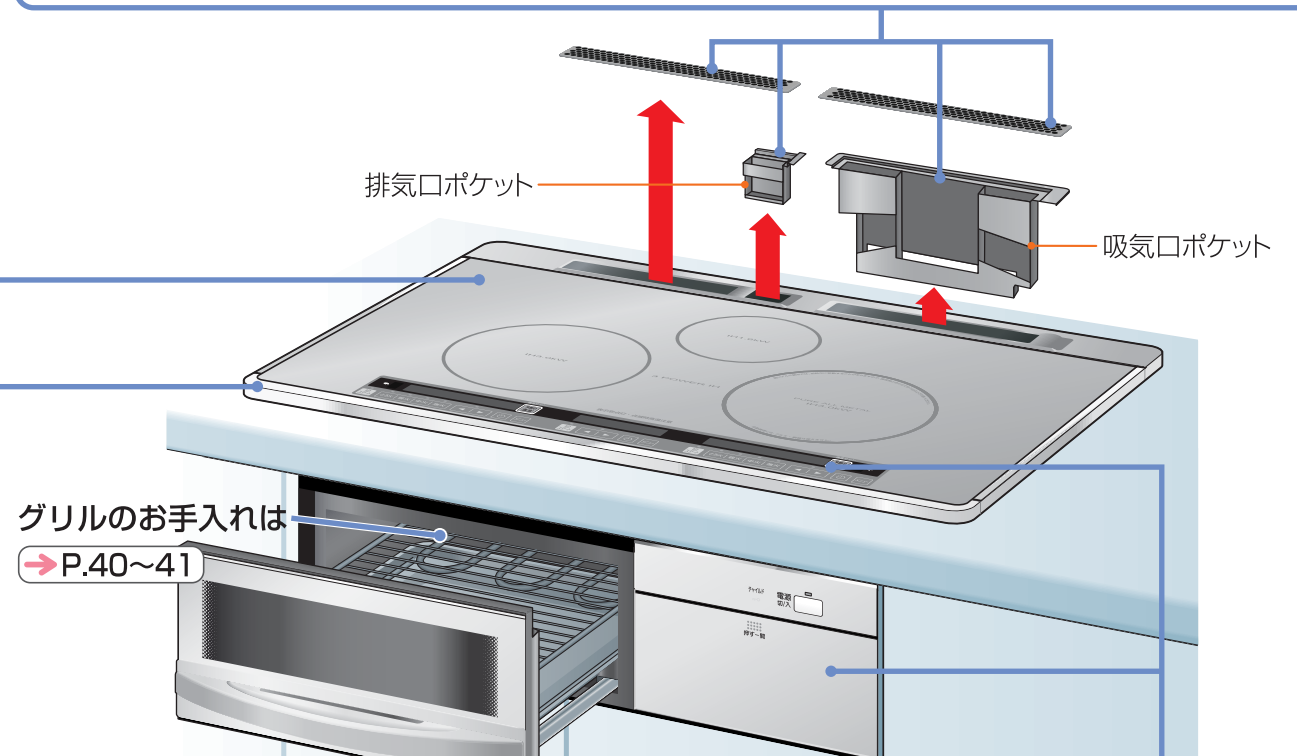
品　名：ガラスクリーナー
型　式：HT−K1
希望小売価格：1,470円
（税抜1,400円）

※お買い上げの販売店または「ご相談窓口」➔P.63 の窓口にご相談ください。
希望小売価格は価格改定に伴い変更する場合があります。

お知らせ ●しょうゆなどの調味料を放置すると、汚れあとが残ることがあります。
●鍋底の汚れがトッププレートにつく場合があります。鍋底の汚れも取り除いてください。

吸・排気カバー、吸気口ポケット、排気口ポケット

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。
※たわしやみがき粉は使わないでください。

吸・排気カバーの下の油汚れもお手入れしてください。

ご 注 意 ●汚れて目詰まりしたまま使うと、安全装置が作動して通電を停止したり、グリル使用中にグリルドアから煙がもれたりする場合があります。
●お手入れ後は、水気をよくふき取り、本体に必ずセットしてください。

天ぷら鍋（付属品）

①薄めた台所用洗剤（中性）とお湯で洗う。
●たわしやみがき粉（クレンザー）は使用しないでください。

②鍋底や外側の異物や汚れをとる。
●汚れがこびりついたまま使うと、油温を正しくコントロールできないことがあります。またトッププレートが汚れます。

③洗い終わったら水気を切り、乾いたら内側に軽く食用油をぬる。
●洗ったままにしておくとさびる場合があります。
※天ぷら鍋に同梱の説明書をよく読んでご使用ください。
●鍋底が反ってきたり、変形した場合は使用しないでください。お買い上げの販売店でお買い求めください。➔P.5

上面・前面操作パネル部

やわらかい布でふき取る。
汚れがひどいときは、台所用洗剤（中性）を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

ご 注 意
●水にぬらさないでください。故障の原因となります。
●ベンジン・シンナー・漂白剤・アルカリ性洗剤は使わない。
●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。

お手入れ（つづき）

●ご使用のたびにお手入れしてください。
●お手入れの際は、必ず電源を切り、十分に冷えたことを確認してから行ってください。

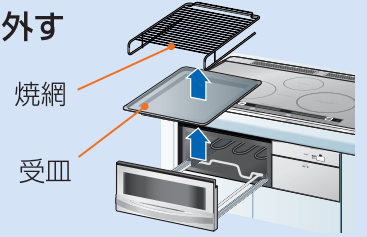
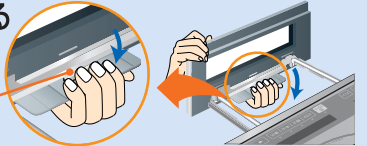
グリル部

グリルドア・受皿・焼網の取り外しかた

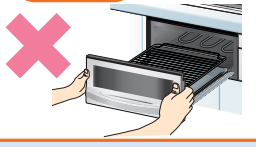
1 とってを両手でしっかり持ち、ゆっくり止まるまで引き出す

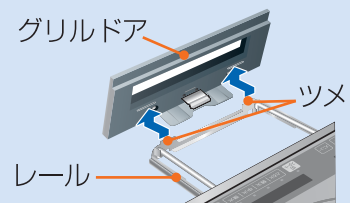
受皿内の脂などをこぼさないように注意してください。

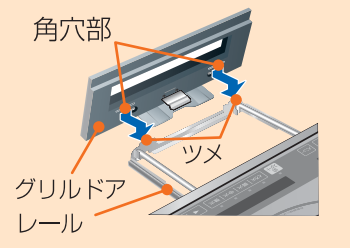
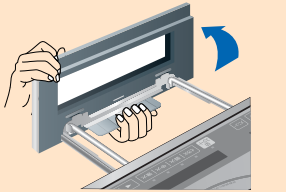
2 焼網と受皿を外す

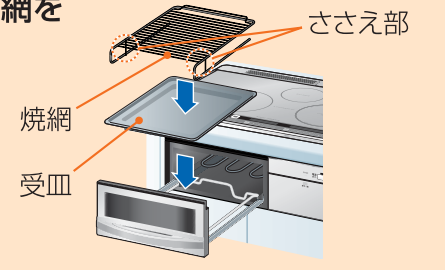
焼網
受皿

3 とっての下側に手をまわし、グリルドアバネを軽く引き下げる

グリルドアバネ

グリルドアバネを押さえずに無理に外すとグリルドアが破損したり、変形することがあります。

ご注意

グリルドアを押し倒して外さないでください。グリルドアが破損したり変形することがあります。

4 グリルドアを本体側へ倒すようにし、左右2個のツメを外す

グリルドア・受皿・焼網の取り付けかた

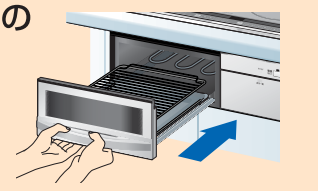
1 グリルドアを本体側へ倒すようにし、レール側のツメ2個をグリルドア下部の角穴に差し込む

2 グリルドアを手でささえ、垂直に起こしながらはめ込む

カチッと音がしてグリルドアが固定されます。

3 受皿と焼網を載せる

焼網は、ささえ部を手前にして載せてください。焼網を逆に入れるとヒーターに当たってドアが閉まりません。

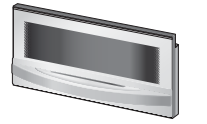
4 グリルドアは本体の前面に当たるまで押して閉める

脂や汁がたまっている受皿の取り外しかた

①脂や汁がたまっている受皿の両側をしっかり持ち、ゆっくりこぼれないように90度回転させます。

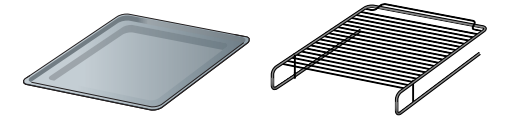
②受皿の脂や汁がこぼれないようにゆっくり持ち上げて外してください。

グリルドアのお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

お願い
●たわし・みがき粉は使用しないでください。（表面を傷つけます。）
●グリルドアは、食器洗い乾燥機や食器乾燥器には入れないでください。（樹脂部が変形します。）

受皿・焼網のお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

お願い 受皿・焼網のフッ素加工を傷めないでください。

●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。フッ素加工に傷が付いたりはがれたりすることがあります。また受皿の裏面を傷つけます。
●焼網は食器洗い乾燥機に入れたり、アルカリ性の洗剤を使ったりしないでください。
●ご使用の度にお手入れしてください。
汚れがこびりつくと調理物が取りにくくなることがあります。
●受皿・焼網は消耗品です。フッ素加工が傷んだ場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。→P.5

グリル庫内のお手入れ

庫内クリーニングをご使用ください。グリル庫内の油汚れを乾燥させ、においを軽減することができます。

準備 焼網・受皿を取り外し、グリルドアを確実に閉める。前面操作パネルを開く

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、
電源ランプを点灯させる

2 追加焼き を3秒押し、
表示部に「CL」を表示させる

3 切 スタート を押し、**通電する**

メロディーが鳴ったら終了です。

4 続けて使わないときは
電源 切/入 を押し、**電源を切る**

お知らせ
●においを軽減しますが、汚れは除去できません。
●クリーニング中は、グリル庫内の油を焼き切るため煙が出る場合があります。必ず換気扇を使用してください。

グリル庫内に落ちた食品カスなどは、グリル庫内が冷えてから手袋などをして取り除いてください。

ご注意
グリル庫内は金属部が数多くありますので、やけどやけがに十分注意してください。

クリーニング中は表示部に CL を表示します。約10分で終了します。

●庫内の温度が約80℃以下になるまで「**高温注意**」表示をします。